

「旧本庄商業銀行煉瓦倉庫」

した「富岡製糸場と絹産業遺産群」に匹敵する蚕室」と「旧本庄商業銀行煉瓦倉庫」について

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫

★企画課 ☎ 1157

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫とは

明治29年（1896年）に、銀行が融資の担保として預かった大量の繭を保管するために建築されたもので、現在国登録有形文化財となっています。

全国有数の繭の集散地として栄えた本市と繭の生産拠点であった本市周辺地域の歴史を伝えるうえで、大変重要な建物です。

設計施工は清水店（現在の清水建設株式会社）が請け負い、設計を清水店第3代技師長で、清水組への改組後に初代社長に就任する清水釘吉と第4代技師長となる岡本基太郎の2人の帝国大学出身の若い設計者が担当するなど、本建物は、煉瓦造の建築技術の確立期に当時の最も先進的な情報を土台として建築されたものです。

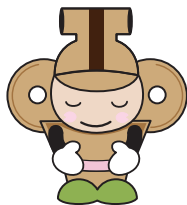
また、この年代の煉瓦造の建物は、関東大震災や建物の老朽化などによりそのほとんどが失われています。そのような面からも極めて貴重な建物といえます。

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の

改修工事を行います

市では、「旧本庄商業銀行煉瓦倉庫」の内部を活用するための耐震等改修工事を8月から行います。

オープンは、平成27年度中を予定しています。



本庄の繭市場

本市は、江戸時代から繭の集散地としてにぎわっており、明治時代には、全国有数の繭の集散地として栄えました。

発展のきっかけとなったのは、明治5年に操業を開始した「富岡製糸場」です。初代工場長の尾高惇忠が、原料繭の仕入れのため、当時の本庄宿の有力者・諸井泉右衛門らに依頼し、生繭の買い入れをしたことが、繭市場発展のきっかけといわれています。



▲本庄の繭市場（明治45年）

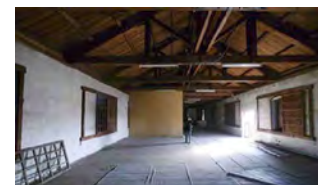
旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の特徴

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫は、煉瓦造2階建て寄棟造りで、深谷市の日本煉瓦製造の煉瓦を用いて建てられています。

規模は、桁行約36.4m、^{はりま}梁間約9.1mです。煉瓦はイギリス積みで、壁の厚さは約47cmあります。2階は全面フロア、キングポストトラスの小屋組みを持つ建築様式になっています。湿気に弱い繭を保管するため、窓を左右対称に設置するほか鉄の網戸と鉄扉をつけるなど、換気・防火・盗難に配慮した造りとなっています。



▲キングポストトラス



▲2階の無柱空間



本庄市の近代化遺産

「競進社模範蚕室」と

市内には、6月21日に世界遺産登録が決定近代化遺産があります。今回は、「競進社模範みなさんにご紹介します。

競進社模範蚕室

★文化財保護課 ☎ 1186

競進社模範蚕室とは

明治27年（1894年）に、木村九蔵が設計した養蚕専用の蚕室です。

建物は、横幅約22m、奥行き7m、高さ9mの4部屋構造となっています。各室に炉及び吸気口が設けられており、「こまがえし」と呼ばれる格子状の天井が特徴です。

また、屋根には4基の高窓（越屋根）をのせています。

「競進社模範蚕室」の公開日を拡大

市教育委員会では、このたびの世界遺産登録に合わせて、日本の近代化に大きく貢献した「競進社模範蚕室」を期間限定で毎日公開します。

期間 7月1日(火)～8月31日(日) 午前9時～午後4時30分

木村九蔵と競進社

木村九蔵は、弘化2年（1845年）に上州緑埜郡で高山寅蔵の五男として生まれました。高山社を興した高山長五郎の弟にあたります。また、幼い頃から養蚕に興味を持ち、蚕の飼育を行っていました。



成長して、武州児玉郡新宿村の木村家を再興し、明治5年（1872年）に「一派温暖育」を考案しました。明治10年（1877年）には、周辺の仲間と共に養蚕改良競進組を組織し、組長になりました。

明治17年（1884年）には、競進組の組織を拡大させ養蚕改良競進社とし、児玉町（現本庄市）に養蚕伝習所と事務所を開設しました。明治27年（1894年）には、伝習所内に「一派温暖育」に適した模範蚕室を建設。明治30年（1897年）には、競進社蚕業講究所を設置。翌年、病気のために死去しました。九蔵は生涯、養蚕の改良と普及、さらに教育に一生を捧げました。

競進社蚕業講究所は、明治32年（1899年）に競進社蚕業学校となり、その後の変遷を経て、児玉白楊高等学校となり、現在に至っています。

競進社模範蚕室の特徴

競進社模範蚕室は、温度や湿度等の環境を人工的に調整する「一派温暖育」に適した構造を持っています。

- ・火力を用いる（温度、湿度管理） 各部屋に2基の煉瓦積み炉を配置。床下が版築（土を突き固める）。
- ・換気に留意 屋根に高窓4基を設置。2階天井はこまがえし。床下に吸気口、1階床にも通気口を設置。

- ・防寒や防暑に配慮 二重の障子、廊下を4周に配置、西日への対処。
- ・作業効率を向上 廊下を4周に配置。中2階の設置。4連室。東西4か所の入口。
- ・室内の明るさにも配慮 高欄、腰高欄の設置



▲煉瓦積み炉



▲こまがえし



▲廊下



▲中2階